

予 算 決 算 委 員 会 教 育 福 祉 分 科 会 会 議 録

開 会 日	令和2年2月27日(木) 午後1時20分～午後5時52分
閉 会 日	令和2年2月28日(金) 午前9時30分～午前11時26分
場 所	長久手市役所本庁舎 2階 委員会室
出席委員	会 長 大島令子 副会長 なかじま和代 会 員 青山直道 伊藤真規子 岡崎つよし 木村さゆり 野村ひろし わたなべさつ子
欠席委員	な し
会議事件のため出席した者の職氏名	総務部長 中西直起 次長兼行政課長 飯島 淳 財政課長 嵯峨 剛 財政課長補佐 井上隆雄 収納課長 吉田 学 収納係長 加納郁子 福祉部長 川本晋司 次長(福祉、長寿担当)兼長寿課長 中野智夫 次長(保険医療、健康推進担当)兼保険医療課長 斉場三枝 福祉課長 若杉雅弥 課長補佐(障がい福祉、福祉協働担当)兼福祉協働係長 山田美代子 課長補佐(保護担当)兼保護係長 水草 純 障がい福祉係長 山田菜美 長寿課課長補佐(いきいき長寿、地域支援担当) 粕谷庸介 長寿課課長補佐(介護保険担当)兼介護保険係長 遠藤健一 いきいき長寿係長 山田克仁 地域支援係長 稲垣道生 保険医療課課長補佐 名久井洋一 国保年金係長 下菌のぞみ 健康推進課長 浅井俊光 主幹兼母子保健係長 遠藤佳子 健康増進係長 諸戸洋子 子ども部長 浅井雅代

	<p>調整監 青木健一 次長兼子ども未来課長 門前 健 課長補佐兼児童係長 西本 拓 保育係長 武田憲明 施設係長 岩崎大輔 子ども家庭課長 出口史朗 課長補佐（家庭担当）兼家庭係長 鈴木晶子 課長補佐（療育支援担当）兼療育支援係長 岡藤彰彦 次長兼教育総務課長 山端剛史 主幹 水野真樹 庶務教育係長 久保田順子 施設係長 日置桂敬 指導主事 谷村秀史 給食センター所長 河瀬浩司 所長補佐兼給食係長 加藤紀子 中央図書館館長 高崎祥一郎 主幹 二之部香奈子 図書係長 水野香織</p> <p style="text-align: right;">計 41 名</p>
職務のため出席した者の職氏名	<p>予算決算委員会委員長 木村さゆり 議会事務局長 水野敬久 議事係長 吉田菜穂子</p>
会議録	別紙のとおり

別紙

会長

開会宣言

議案審査

議案第 11 号

令和元年度長久手市介護保険特別会計補正予算（第 4 号）

長寿課長

議案第 11 号について説明

わたなべ会員

歳出 2 款 1 項 地域密着型介護サービス事業

地域密着型介護サービス給付費を 1 億 1,000 万円減額した要因は何か。

長寿課長

介護保険計画の看護小規模多機能居宅介護施設が令和元年度中に開設予定であったが開設が遅れている。そのため今年度の介護サービス費を給付していないことが要因の一つである。

わたなべ会員

看護小規模多機能居宅介護施設の開設予定はいつか。

長寿課長

令和 2 年 3 月頃に工事が完了予定、令和 2 年度の早い時期には開設できると聞いている。

わたなべ会員

歳出 2 款 1 項 施設介護サービス事業

施設介護サービス給付費を 4,000 万円減額した要因は何か。

長寿課長

広域の特養施設や老健施設の給付費を計画として 67 人分見込んでいたが、実際の給付は 10 人少なくなったことによる。

大島会員

看護小規模多機能居宅介護施設の開設が遅れている理由は何か。

長寿課長

事業者は公募ではなく、一つの事業所を誘致する予定であった。広く情報発信し、手が上がる事業所を待っていた。予定の時期からは遅れたが市としても協力し早期開設に向けて準備している。

青山会員

歳出 3 款 2 項 包括的支援事業

生活支援体制整備委託は 3 者の委託予定が 1 者の委託となったが事業に支障はなかったか。

地域支援係長

生活支援体制整備事業は、令和元年度に長寿課へ移行されたため改めて目的や進め方を検討した。本来 3 者に委託すべき事業は、委託した 1 者と市が一部業務を担うことで実施している。

質疑及び意見を終了

議案第 4 号

令和 2 年度長久手市介護保険特別会計予算

長寿課長

議案第 4 号について説明

青山会員

歳出 3 款 2 項 包括的支援事業

令和元年度は、生活支援体制整備委託で契約事業者 3 者予定が 1 者になり市が対応し実施したため減額補正しているが、令和 2 年度の予算が令和元年度補正後の予算額より増額しているのはなぜか。

地域支援係長

今年度長寿課で事業の整理をし目的や進め方を検討した。次年度に向けて委託の体制を拡大し、事業と作業量を増やすことを考え予算計上した。

青山会員

いくつの事業所に委託するのか。

地域支援係長

専従のスタッフを配置する社会福祉協議会は継続して委託することを考えているが、介護予防、高齢者生活支援については民間、大学等地域の資源を活用し事業を進めていくことを考えている。

岡崎会員

歳出 3 款 2 項 包括的支援事業

認知症まちづくりモデル事業委託とは何か。

長寿課長

愛知県が平成 29 年度に策定したオレンジタウン構想に基づく認知症に理解の深いまちづくりとしてモデル事業の募集をし、本市が応募した。事業期間は平成 30 年度から令和 2 年度までの 3 年間である。

岡崎会員

どのような事業を行ったのか。

地域支援係長

若年性認知症の方は福祉につながりにくいため、オレンジクレータカフェを催し、お茶や音楽を楽しみながら、若年性認知症の方が専門職と関係を築き、必要な支援につなげていける場を設けた。

岡崎会員

令和 2 年度はどのような事業を行うのか。

地域支援係長

オレンジクレータカフェで関係を築いた若年性認知症の方の就労等の役割と居場所のある場所作りを展開することと、民間企業等に情報提供し居場所への参加につなげていくことを考えている。

岡崎会員

愛知県から委託され事業の成果はどのように結びつくのか。

長寿課長

10 市町がモデル事業委託を受けていて、愛知県へ年 2 回程度、進捗状況や課題を報告している。認知症という切り口で

自治体や事業者がどのようなことができるかと認知症の取り組みとして地域の発展につながるかということを探っているようである。

大島会員 福祉まつりの認知症のカフェブースが該当すると思うが、愛知県からの委託終了後はどのように継続していくのか。

地域支援係長 福祉まつりの事業は、認知症地域支援推進事業として高齢者を含めた一般的な認知症の対策として行っている。愛知県のモデル事業は若年性認知症の対策として行っていて、委託終了後も培ったノウハウを継承して認知症地域支援推進事業の中で行いたいと考えている。

大島会員 同じ人が関わっていることはあるか。

地域支援係長 愛知県のモデル事業は愛知医科大学に委託している。認知症地域支援推進事業として行っている福祉まつりの事業は社会福祉協議会に委託している。関連性がある事業のため情報共有しながら進めている。

大島会員 認知症地域支援推進委託はいくつの事業者にいくら支払っているのか。

地域支援係長 社会福祉協議会へ委託していて、それ以外の事業者を支払われることはない。認知症カフェを催す際に、包括支援センターの職員による認知症相談の対応や、市による広報の周知の支援などの協力をしている。

なかじま会員 若年性認知症の方は市内に何人いるのか。

地域支援係長 正確な資料はないが、若年性認知症の定義は65歳未満で認知症状がある方で、人数の把握の方法として要介護認定を受け、調査内容に認知症状がある方が20人程度いる。

なかじま会員 オレンジクレーンカフェ等への若年性認知症の方の参加はあるか。

地域支援係長 今のところ参加はない。

大島会員 歳出 2款4項 高額介護サービス事業
高額介護サービス費はどのような内容か。

長寿課長 介護保険サービスを利用して自己負担額が高額になった場合、所得に応じた上限額を超えた分を支給する。

大島会員 ケアマネージャーが計画を立てると思うがそれでもサービスが足りない人ということか。

長寿課長 ケアマネージャーが上限額を超えないよう計画をしている

がそれでも超えた場合は全額自己負担となる。利用者の所得により負担割合が異なる。負担割合に応じて自己負担金額が増えるため、一定の金額以上を超えると市が支給する。その対象者が少しずつ増えている。

大島会員

歳入 1 款 1 項 介護保険料

第 1 号被保険者で年金 18 万円以下の特別徴収されない人は何人か。

長寿課長

年金 18 万円以下の人数は把握できないが、近い人数として令和元年度の介護保険料を徴収した人数が現時点で 9,987 人である。特別徴収が 8,668 人、普通徴収が 1,319 人である。65 歳到達、市外からの転入者を除くと 349 人である。この中の一部が年金 18 万円以下の方である。

なかじま会員

歳出 3 款 1 項 一般介護予防事業

ワンコインサービス事業の委託事業者は令和元年度と同じか。また、利用が多く補助金が不足した場合は補正予算で対応するのか。

地域支援係長

委託事業者は公募型プロポーザルで決定する。また、補助金が不足した場合は補正予算で対応する。

大島会員

歳出 3 款 1 項 介護予防・生活支援事業

介護予防・生活支援事業は、当初要支援 1、2 の方は一般会計から支出していたが、特別会計から支出できるよう制度が変わったのか。

長寿課長

要支援 1、2 の方の事業は平成 29 年 3 月から総合事業に移行している。移行する前は 2 款 2 項介護予防サービス諸費に予算計上していたが、順次 3 款 1 項介護予防・日常生活支援総合事業費に付け替え、現在は全て移行済みである。

質疑及び意見を終了

議案第 10 号

令和元年度長久手市国民健康保険特別会計補正予算(第 2 号)

保険医療課長

議案第 10 号について説明

わたなべ会員

歳出 1 款 2 項 賦課徴収事業

JAMP A 年会費負担金はどのような内容か。

課長補佐

ペイジーの口座振替サービス導入に必要なシステムを統括している団体 JAMP A への負担金である。

わたなべ会員 国や県の団体か。
課長補佐 ペイジの口座振替サービスを行う公的な任意団体である。
質疑及び意見を終了

議案第 2 号 令和 2 年度長久手市国民健康保険特別会計予算

保険医療課長 議案第 2 号について説明
なかじま会員 毎年、被保険者数が 3 パーセントほど減っているということであったが令和 2 年度は何人になるのか。

課長補佐 8,685 人を見込んでいる。
木村会員 歳入 3 款 1 項 保険給付費等交付金
保険者努力支援分が 1,489 万 4,000 円で昨年度に比べ 470 万円増額している理由は何か。

国保年金係長 令和 2 年度予算は令和元年度の実績額で計上している。平成 30 年度と比べ交付額が増額している。糖尿病重症化予防事業としてかかりつけ医との連携等により点数が増え交付額が増額した。

木村会員 糖尿病重症化予防事業により糖尿病が重症化する方は減ったか。

国保年金係長 昨年度個別指導を行った 23 人の今年度の特定健診結果の評価によると国民健康保険をやめた 3 人以外の 20 人は血糖値が改善され一定の効果があつたと考えている。

大島会員 医療費の通知に必要な予算は計上されているか。

課長補佐 5 款 1 項保険事業費の医療費通知作成委託として予算計上している。

なかじま会員 重症化予防事業は人工透析以外にどのような方を対象としているか。また、健康づくり教室事業の体力測定委託の対象人数と内容はどのようなか。

課長補佐 重症化予防事業は、人工透析に移行する可能性のある方に対し実施予定である。健康づくり教室事業は国保加入者を含め幅広い方の参加とする事業で特定健診と組み合わせて歩行速度、歩幅、握力、棒反応テスト等の体力測定を実施する予定である。

岡崎会員 後発医薬品の割合はどのようなか。

課長補佐 令和元年 11 月現在で 63.2 パーセントである。

岡崎会員 平成 30 年度に比べると推移はどのようなか。

課長補佐 平成30年11月で60.2パーセントで約3ポイント上がった。
青山会員 令和2年度は重複薬剤通知委託は行わないのか。
課長補佐 重複薬剤通知委託は服薬通知委託として実施予定である。
質疑及び意見を終了

議案第12号 令和元年度長久手市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

保険医療課長 議案第12号について説明
質疑及び意見なし

議案第5号 令和2年度長久手市後期高齢者医療特別会計予算

保険医療課長 議案第5号について説明
なかじま会員 75歳となり後期高齢者医療に移行する人数はどのようか。
課長補佐 令和2年度の見込みとして、後期高齢者医療へ移行する方は247人、全体としては4,823人を見込んでいる。
なかじま会員 長久手市においても2025年に向けて75歳以上が爆発的に増える予定か。
課長補佐 国の見通しとして2022年以降は一時的に75歳以上の人口の増加が高まるとして、長久手市も同様にしばらくは後期高齢者に移行する方が増加すると考えられる。
質疑及び意見を終了

<休憩 午後3時25分>

<再開 午後3時30分>

議案第9号 令和元年度長久手市一般会計補正予算(第6号)

青山会員 歳出 3款2項 市が洞児童館管理事業
子ども未来課長 市が洞児童館指定管理料が800万円減額した理由は何か。
今年度4月当初に待機児童がいなかったため児童クラブ事業を実施しなかったためである。
岡崎会員 年度途中で待機児童が出たのではなかったか。
子ども未来課長 待機児童が10人出た。
岡崎会員 株式会社ポピンズに指定管理として委託しているのであれば市の責任として児童クラブを実施させるべきではないか。
子ども未来課長 指定管理業務のため直ちに児童クラブが実施できるよう調

整をすべきであるが、専用の児童クラブ室や、児童厚生員の雇用に一定の時間と準備等が必要であるため実施に至っていない。

岡崎会員 今年度実施できなかつたため減額し、令和2年度に児童クラブを実施することはあるか。

子ども未来課長 いつかは未確定であるが、事業者と事業の実施について調整し早期に開所できるようにする。

青山会員 歳出 3款1項 高齢者福祉事業
乗合タクシーモニター制度報償金が減額になっている理由は何か。

長寿課課長補佐（いきいき長寿、地域支援担当）
当初モニターに1人1万円の報償金を支払う予定であったが仕様を考えていく中でモニターには20回分の無料回数券を交付することになったためである。

なかじま会員 歳出 3款2項 児童福祉事業
児童発達支援費は何回分の利用にあたるか。

子ども家庭課課長補佐（療育支援担当）兼療育支援係長
就学前児童に対する扶助費で概ね1か月分の金額である。

なかじま会員 市内市外の施設で就学前児童が通っている割合はどのようか。

課長補佐（療育支援担当）兼療育支援係長
平成30年度実績の延べ人数で市内12パーセント、市外88パーセントである。

木村会員 歳出 3款2項 病児病後児保育事業
病児・病後児保育事業は243万3,000円増額となっているが何人増えたのか。

子ども未来課長 市内で実施しているナーサリールカは当初400人見込んでいたが利用者が多く600人を超える見込みであり、委託費を増額する。

青山会員 歳出 4款1項 母子保健事業
母子保健コーディネーター報酬を減額する理由は何か。

健康推進課長 嘱託員3人雇用する予定であったが嘱託員1人しか雇用できなかつたため減額した。

会長 他になければ、議案第9号の質疑及び意見は以上で終了する。

議案第 1 号 令和 2 年度長久手市一般会計予算

福祉課

- 福祉課長 福祉課の予算について説明
- わたなべ会員 歳出 3 款 1 項 社会福祉事業
要支援者システム保守管理委託はどのような内容か。
- 課長補佐(障がい福祉、福祉協働担当)兼福祉協働係長
避難行動要支援者の登録のため、データ管理システムの保守管理をする委託業務である。毎年、住民基本台帳から抽出し登録データの確認を行い、避難行動要支援者名簿の情報を更新している。
- 野村会員 歳出 3 款 3 項 生活保護事業
学習支援事業委託は塾へ委託しているのか。
- 福祉課長 学習塾 2 者へ委託している。
- 野村会員 塾へは昨年度何人通ったか。
- 福祉課長 令和元年度は 33 人、平成 30 年度は 28 人である。
- 野村会員 利用者が増えても続けるのか。
- 福祉課長 昨年度も今年度も当初の募集より多くの応募があるため補正予算でできる限り対応する。
- わたなべ会員 歳出 3 款 1 項 障がい者福祉事業
障がい者地域生活体験訓練事業委託は何人見込んでいるか。
- 福祉課長 3 か月で 1 期、年間 4 期で各期 4 人を予定している。
- 岡崎会員 歳出 3 款 1 項 障がい者自立支援事業
自立支援医療に育成医療と更生医療とあるがどのような扶助費か。
- 障がい福祉係長 育成医療は 18 歳未満の子どもが対象でそのままにすると障がいが残る方に対し医療的行為を行うための医療費の助成である。更生医療は 18 歳以上の方が対象で人工透析等治療が必要な場合の医療費の助成である。
- 大島会員 福祉のしおりは 3 冊あり使いにくいと検証はしないか。
- 福祉課長 1 冊では探しにくいという意見があり対象別としている。
令和 2 年度はこのままの予定である。
- 野村会員 歳出 3 款 1 項 障がい者福祉事業
障がい者地域生活体験訓練は、令和元年度は全 4 期で各期で何人利用したのか。

福祉課長 令和元年度は1期と2期は2人、3期と4期は1人で延べ6人が利用している。

野村会員 3か月ではなく短期の利用を希望している利用者はいるか。

障がい福祉係長 1クール3か月としているが入院等で利用できなかった方はいた。

大島会員 1つのグループホームへ委託しているのか。体験のために部屋を確保する必要があるがどのように実施しているのか。

福祉課長 2つのグループホームへ委託している。部屋の確保はお願いしている。

大島会員 どのグループホームか。

福祉課長 こだまの家とm i r a iである。

なかじま会員 歳出 3款1項 社会福祉事業
地域スマイルポイント還元品 400万円はどのような伸びを想定しているのか。

課長補佐(障がい福祉、福祉協働担当)兼福祉協働係長 令和2年1月末現在の交換者が476人で、今年度620人ほどの交換者がいると見込んでいる。昨年度の伸び率を考えると400万円弱の還元がされると想定している。

会長 他になければ、福祉課の質疑及び意見は以上で終了する。

長寿課

長寿課長 長寿課の予算について説明

木村会員 歳出 3款1項 高齢者等乗合タクシー事業
今年度にN-タク実証実験を行ったが、令和2年度予算に計上していない理由は何か。

長寿課長 実証実験のアンケート結果等を踏まえて本格実施についての検証までできないため予算計上していない。

木村会員 今後、検証して令和2年度に予算措置をする予定があるか。

長寿課長 実証実験が終わり運行前のアンケートについては前回の公共交通会議で報告した。運行後のアンケートとモニター制度により実証実験前にもモニターに日常移動記録日誌をつけてもらっている。3月中にはまとめて報告する予定であり結果を踏まえて判断する。

伊藤会員 歳出 3款1項 高齢者日常生活支援事業
緊急通報システムの通報は昨年度何件あったか。

課長補佐（いきいき長寿、地域支援担当）

正報の通報は平成 30 年度 21 件である。

伊藤会員 通報の内容はどれくらい緊急性があるのか。

課長補佐（いきいき長寿、地域支援担当）

それぞれであるが、緊急で救急車が必要な場合や通報センターにつながるため職員が話しをして救急車を呼ばない判断をすることもある。

伊藤会員 通報の対応後に何か対策を講じるのか。

長寿課長 誤報、正報については毎月集計報告がある。正報で緊急性の高い場合は報告があり、必要に応じて担当地区の包括支援センターへ情報提供している。

伊藤会員 正報以外の内容の報告はあるのか。

長寿課長 間違えて押してしまったり、相談にのって欲しい場合もある。

岡崎会員 歳出 3 款 1 項 高齢者福祉事業

高齢者虐待等緊急一時保護委託はどのような場所で保護するのか。

長寿課長 場所の公表はしていないが受入れできる場所はある。

岡崎会員 今年度の利用件数はどのようなようか。

係長 今のところない。

わたなべ会員 歳出 3 款 1 項 高齢者日常生活支援事業

緊急通報センターとはどのようなところか。

課長補佐（いきいき長寿、地域支援担当）

通報すると委託しているアルソック（安心サポートセンター）へ連絡が入ることになっている。

伊藤会員 歳出 3 款 1 項 介護職員確保事業

市内の介護職員はどれくらい足りていないのか。

長寿課長 把握はしていない。令和 2 年度の計画策定のなかで事業所に対し聞き取り等し不足に対し市としても支援していきたい。

会長 他になければ、長寿課の質疑及び意見は以上で終了する。

保険医療課

保険医療課長 保険医療課の予算について説明

わたなべ会員 歳出 3 款 1 項 子ども医療費支給事業

子ども医療費が令和元年度に比べ増額している理由は何か。

課長補佐 令和2年度の年間平均受給者数が140人増加し、1人あたりの医療費の助成額も増加を見込んでいる。

会長 他になければ、保険医療課の質疑及び意見は以上で終了する。

健康推進課

健康推進課長 健康推進課の予算について説明

岡崎会員 歳出 4款1項 予防接種事業

予防接種事業用備品の高圧蒸気滅菌器オートクレーブは壊れたため買い換えるのか。

健康推進課長 経年劣化のため買い換える。

岡崎会員 予算額として高額ではないか。現在使用しているオートクレーブの購入金額はいくらであったか。

健康推進課長 当時の購入金額は今わからないが同等の物の購入を考えている。仕様等確認し現在使用している物について後で報告する。(報告14ページ)

会長 他になければ、健康推進課の質疑及び意見は以上で終了する。

子ども未来課

子ども未来課長 子ども未来課の予算について説明

なかじま会員 保育園の公定価格上の配置基準はどのようなか。

子ども未来課長 0歳児が3人に対し保育士1人、1・2歳児が6人に対し保育士1人、3歳児が20人に対し保育士1人、4・5歳児が30人に対し保育士1人である。

大島会員 市の基準はどのようなか。

子ども未来課長 0歳児が3人に対し保育士1人、1歳児が4人に対し保育士1人、2歳児が6人に対し保育士1人、3歳児以上は国の基準と同じである。

なかじま会員 歳出 2款1項 農村環境改善センター施設整備事業

今後は子ども未来課で農村環境改善センターを管理するのか。

子ども未来課長 複合施設として上郷保育園等を整備し、敷地を一体で管理するため、今年度4月よりくらし文化部から子ども部に移管を受けた。

なかじま会員 施設利用方法や条例等については変更となるのか。

子ども未来課長 利用目的、施設設置目的に変更はないため条例改正の必要はない。管理もシルバー人材センターへ委託している。

なかじま会員 歳出 3款2項 上郷保育園運営事業
給食調理委託の今後のスケジュールはどのようか。

子ども未来課長 4月に委託準備、第1四半期には契約、9月中旬頃に導線等の確認をし10月には配食できるよう進めたい。

野村会員 歳出 2款1項 農村環境改善センター施設整備事業
特定天井対策工事監理委託の工事期間はどのようか。

子ども未来課長 およそ3か月程度である。

野村会員 委託費用としては金額が高いのではないか。

施設係長 面積は狭いが全体的に足場を組み天井を撤去し断熱材を入れ、照明と消防設備も新しくするため、面積としては割高ではあるが必要と判断し予算計上した。

岡崎会員 補助資料によると市が洞児童クラブの待機児童は35人で待機児童を解消するため市が洞児童館の受入れを40人想定している。すぐに定員を超えられると思われるがどのように考えているか。

子ども未来課長 市が洞児童館の指定管理での児童クラブ開設に向けて調整を進めていきたいと考えている。なお受け皿が不足しているため早期に民間事業者の活用を考えていく。

岡崎会員 歳出 3款2項 利用者支援事業
子育てコンシェルジュ事業の利用状況はどのようか。

保育係長 平成30年度の実績は窓口、電話等の相談を含めて600件ほどである。

岡崎会員 会計年度任用職員は当初から雇用している職員か。

保育係長 同じ職員を雇用する予定である。

大島会員 新たに北児童クラブができて待機児童がなくなりますが、今後は大丈夫なのか。

子ども未来課長 今後、受け皿の拡充が必要となるかもしれないため民間事業者の活用も考えていく。下山児童館に関してもファシリテイマネジメントの観点から全庁的に方向性を定めていくが、需要が高ければ子育て支援に活用することも視野に入れる必要もあると考えている。

大島会員 民間事業者を活用した場合、建物はどうするのか。

子ども未来課長 実施場所にもよるが、指定管理や事業委託等様々な方法が考えられる。

大島会員 民間事業者へ委託するのであれば学童保育所へ説明が必要ではないか。

子ども未来課長 今月の学童保育所との意見交換会で話しをした。市がこれ以上直接やることは限界である。あらゆる資源を集め、子どもの居場所を確保していきたい。

なかじま会員 南児童クラブは定員 80 人のところ 105 人受け入れているが指導員の人数と一人あたりの面積の基準はどのようか。

課長補佐兼児童係長

指導員は 40 人に 2 人、南児童クラブは 5 人である。一日の平均利用人数で一人あたりの面積は 1.65 平方メートルである。南児童クラブは定員 80 人であるが平均利用人数はおよそ 60 人であるため問題はない。

会長 他になければ、子ども未来課の質疑及び意見は以上で終了する。

子ども家庭課

子ども家庭課長 子ども家庭課の予算について説明

なかじま会員 子どもの預かり事業について、運営体制の補助員は保育士ではないのか。

子ども家庭課長 補助員はシルバー人材センターへ委託し派遣してもらう。

なかじま会員 子ども預かり事業は児童福祉法に定める事業ではないのか。

子ども家庭課長 児童福祉法に定める事業ではない。

なかじま会員 定員 10 人であるが、5 人以上であるため県に申請の必要はないか。

子ども家庭課長 法律に基づく事業ではないため申請は必要ない。

なかじま会員 事業の主体は市であるため市が責任をもつのか。

子ども家庭課 市が責任をもって行う。保育士は市が雇用する。

なかじま会員 申し込み方法はどのようか。

課長補佐（家庭担当）兼家庭係長

親自身が検診等で前もって預けることがわかっている場合は事前に予約してもらう。当日でも緊急の場合は対応する予定である。

なかじま会員 すぎの子教室の雨漏りは直したか。今後、施設はどうする

のか。

課長補佐（療育支援担当）兼療育支援係長

雨漏りを防ぐ対応はした。施設の総合的な利用は今後検討する。

大島会員

預かり事業のトイレはどのように設置するのか。

子ども家庭課長

子ども用を1つ設置する。

大島会員

同じ場所に大人用トイレは設置しないのか。

子ども家庭課長

大人はシルバー人材センターのトイレを使用する。

大島会員

子どもを預かるリスクをどのように考えているか。人材面等安全な条件を整えないといけないのではないか。

子ども部長

人員配置の基準は、児童福祉施設の設備及び運営に関する基準に基づき保育士を配置する。

調整監

先程、子ども家庭課長が愛知県への届出は必要ないと回答したが、半年以上子どもを預かる事業の場合は、国の制度にかかわらず一時預かり事業として愛知県への届出が必要であるため訂正する。

会長

他になければ、子ども家庭課の質疑及び意見は以上で終了する。本日はこの程度にとどめ、2月28日（金）午前9時30分に再開する。本日はこれにて散会。

午後5時52分 散会

2月28日（金）

午前9時30分 再開

会長

2月27日に引き続き会議を再開する。

健康推進課長から発言したい旨申出があったので発言を許可する。

健康推進課長

岡崎会員から予防接種事業用備品について高額ではないかとの質問があった。現在使用している高圧蒸気滅菌器オートクレーブについて確認したところ、平成22年度の購入金額は99万7,500円であった。令和2年度に購入予定の機器は機能、企画は同程度で、搬入設置費用及び既存機器の引き取り費用を含み適切な予算と考えている。（詳細11ページ）

岡崎会員

修理はできないのか。

主幹 購入してから10年程経っていていつ壊れるかわからない状態である。消毒は適切に行う必要があるため前もって購入する。

会長 本日、臨時校長会開催のため教育部長が出席できないという報告があった。

教育総務課

教育総務課長 教育総務課の予算について説明

野村会員 歳出 9款1項 教育委員会事務事業
スクールロイヤーの勤務体制はどのようなか。

教育総務課長 今年度試行で実施し1か月に1回2時間程度、相談場所の市が洞小学校に弁護士2人が来ている。令和2年度の体制は1か月に1回を目安として弁護士と改めて協議する。

野村会員 1か月に1回2人が同時に対応するか。

教育総務課長 試行では2人が同時に対応している。緊急であればメールや電話でも相談できる。

野村会員 スクールロイヤーが関わった案件は何件か。

教育総務課長 令和2年1月現在7件である。

大島会員 スクールロイヤーを派遣をすることになった経緯はどのようなか。

教育総務課長 いじめ問題専門委員会の委員の弁護士からの提案により6月から試行で実施することになった。

大島会員 弁護士はどこから派遣されているのか。

教育総務課長 いじめ問題専門委員会の委員の弁護士が所属している愛知県の弁護士会から、子どもの人権に詳しい弁護士2人が派遣されている。

木村会員 歳出 9款2項 東小学校運営事業

校舎等改修工事設計委託と校舎等改修工事はどのような内容か。

主幹 校舎等改修工事設計委託は東小学校の児童数増加に伴い教職員も増加し職員室のスペース不足を解消する改修と多目的室を普通教室に改修するための設計委託費用である。校舎等改修工事は運動場の排水不良を改善するための改修工事費用である。

わたなべ会員 歳出 9款1項 教育委員会事務事業

- 日本スポーツ振興センター負担金の1人あたりの金額と人数はどのようなか。
- 教育総務課長 令和2年度の見込みとして1人あたり945円で6,261人である。
- わたなべ会員 歳出 9款1項 教育委員会事務事業
要保護及び準要保護児童生徒扶助費の支給は何人か。
- 教育総務課長 令和2年1月1日現在小学校が211人、中学校が99人で合計310人である。予算には入学前支給の56人も含んでいる。
- 野村会員 歳出 9款1項 地域学校協働活動事業
地域コーディネーターの人件費が令和元年度の予算と変わらないが新しい事業が行えるのか。
- 教育総務課長 新規事業であるが、今年度から準備し長久手小学校で実施している。地域コーディネーターは教員のOBである。事業が円滑に進むよう地域の関係作りを強化していくことを考えている。
- 岡崎会員 歳出 9款2項 南小学校運営事業
以前爆破予告メールが保護者への緊急情報メールには情報提供があったが安心メールには情報提供がなかった。安心メールでは情報提供をしないのか。
- 教育総務課長 愛知県下で同様のメールが届き、警察からいたずらの要素が強いため過度な対応はしないようにという通知があったため、安心メールでは情報提供しなかったという特殊な例であった。
- 岡崎会員 安心メールを受ける市民にも情報提供した方がよいのではないか。
- 教育総務課長 市民に情報を提供することが目的であるため再度検討する。
- 木村会員 歳出 9款1項 教育委員会事務事業
瀬戸特別支援学校負担金は令和元年度より減額している理由は何か。
- 教育総務課長 在籍人数が減ったことによる。算定根拠は平成30年4月1日時点の入所者数となるが算定前の10人から8人になった。
- 木村会員 市内の該当する子どもの人数が8人ということか。
- 教育総務課長 平成30年4月1日時点では、市内では8人であった。
- 伊藤会員 エアコンの設置によりどこの予算が増額したか。
- 教育総務課長 全校分として空調機保守点検委託が増額した。

伊藤会員 光熱費等ランニングコストとしてどこに予算計上しているか。

主幹 長久手小学校の例だと前年度比の増減は少ないが光熱水費にエアコン設置に伴う追加分として 90 万円程見込んでいる。過去の実績から算定しているため学校によっては大幅に増加していない学校もある。

伊藤会員 エアコンの稼働期間はどのようか。

教育総務課長 明確な稼働期間は設けていないため現場が必要であればエアコンを入れることとしている。

伊藤会員 体育館や武道場にエアコンは設置しないのか。

教育総務課長 現在のところ考えていない。

大島会員 ランニングコストの資料は作成しないのか。

主幹 ランニングコストは夏と冬について前年度と比較できるような数字を確認している。

大島会員 ガス方式を選択した理由は導入コストは高いがランニングコストが安いためであったがどのように把握していくのか。また、エアコンを入れる基準の温度について国が示す温度は夏は 28 度、冬は 17 度としているが市としてはどうしていくか。

主幹 統計をとり検証していきたいと考えている。市として運用基準で設定温度を設けているが、目安としているため学校現場の判断で調節できることにしている。

なかじま会員 歳出 9 款 1 項 教育委員会事務事業
セルフディフェンス講座を行い、参加していない教員に生徒のアンケートを共有しているか。

主幹 教員のアンケートは共有しているが生徒のアンケートについては把握していない。

なかじま会員 生徒のアンケートを実施する際にはアンケート結果を有効に使うため全ての教員に共有してはどうか。

教育総務課長 校長会を通じて全校に通知する。

大島会員 セルフディフェンスの今年度の計画はどのようか。

教育総務課長 小学校 4 年生と中学 1 年生に実施した。

なかじま会員 歳出 9 款 1 項 教育委員会事務事業
I C T 活用支援事業委託はどのような内容か。

教育総務課長 プログラミング教育の導入を見据え、平成 30 年度にプロポ

- ーザルを実施し業者を決定、令和2年度は小学校で年12回1日8時間サポーターが滞在し教員にアドバイスをする。
- なかじま会員 教員と児童のどちらへの支援か。
教育総務課長 教員に対するサポートである。
なかじま会員 1日8時間、年12回が有効か教員と共有し実施してほしいが変えることはできるのか。
- 指導主事 今年度も同じ回数を行っている。現場からもこのままの回数で行いたいという意見が出ている。校内では研修や機器のトラブル等に対応できるよう授業のサポートとしてICT支援員が来る日に調整し授業を行うなどの対応ができる体制をとっている。
- なかじま会員 歳出 9款1項 適応指導教室事業
適応指導教室はどこを改修するのか。
教育総務課長 建物全体が老朽化しているため一括して修繕する。
なかじま会員 市が買い入れた市役所整備用不動産に移行するのであれば改修は必要ないのではないか。
教育総務課長 適応指導教室の移行については協議中であるため、現在の場所での改修の予算を計上している。
- なかじま会員 予算が無駄にならないよう庁内の連絡はとれているのか。
教育総務課長 市役所整備用不動産の使い方について、期日は決まっていないが早急に総務部と協議し決まり次第報告する。
- 大島会員 教育福祉委員会から執行部へ適応指導教室に対する要望書を提出したが要望の7項目はどのように予算に反映されているのか。
- 施設係長 外壁と防水工事、網戸の取り替え、相談室の改修は改修工事費として予算計上している。照明の交換は修繕料として予算計上している。指導員の部屋の確保、トイレは予算計上していない。児童生徒の机等の備品は備品購入費として予算計上している。その他児童生徒用パソコン1台を4月に導入予定である。
- なかじま会員 歳出 9款2項 東小学校運営事業
現在校舎内にあるAEDは外部に設置しないのか。
主幹 令和2年4月30日の更新時期に合わせて1台は外部に設置する予算を計上している。
- 野村会員 歳出 9款3項 南中学校運営事業

南中学校の増築工事を行うが、生徒人数のピークはいつ頃か。

主幹 予測であるが令和5年度である。令和3年度から令和11年度までは教室が不足するため増築を考えている。

野村会員 4教室の増築で足りるのか。

教育総務課長 推計から足りると考えている。

野村会員 増築場所はどこか。

教育総務課長 駐車場のロータリーあたりである。

わたなべ会員 9款2項 北小学校運営事業
夏休みのプールは実施するのか。

教育総務課長 今のところ通常どおり実施する予定である。

岡崎会員 各教室から職員室への連絡体制はとれているか。

係長 各教室のインターホンで通話できる。

岡崎会員 さすまた等の訓練はしているのか。

指導主事 訓練については把握していないが、各学校で危機管理のマニュアルを作成し周知している。

なかじま会員 情報提供については、どのような内容であっても保護者へのメールと安心メールと合わせて連絡してほしい。

教育総務課長 全ての保護者に間違いなく迅速に連絡が届くよう対応していきたい。

大島会員 適応指導教室が移転する場合は通っている子どもや保護者の意見も考慮してほしいがどうか。

教育総務課長 移転になれば環境が変わるため子どもや保護者とは十分話し合い最善の方向にもっていきたいと考えている。

会長 他になければ、教育総務課の質疑及び意見は以上で終了する。

給食センター

所長 給食センターの予算について説明

なかじま会員 台風などで給食中止の場合、食材はどのような処理をするのか。

所長 近隣市と協議し2日前の午前中までに判断し、あらかじめ止めれる食材は止める。費用は発生しない。

なかじま会員 学校が休業になり長期にわたり給食が中止となった場合はどのような処理をするのか。

所長 食材はキャンセルする。キャンセルが間に合わない場合は市が買い取ることもある。
 なかじま会員 令和2年度から牛乳パックになるが、牛乳パックであれば飲めない場合は廃棄ではなく持ち帰れるのではないか。
 所長 牛乳は温度管理が難しいため残れば廃棄する。
 なかじま会員 保冷バック等であれば温度管理ができるのではないか。
 教育部次長 季節的な温度差があり難しい。また責任の所在の観点からも今のところ保冷剤を使った持ち帰りは難しいと考えている。
 わたなべ会員 歳出 9款5項 給食調理事業
 会計年度任用職員の職種はどのようなか。
 所長 調理員3人分を計上している。
 わたなべ会員 今年度と人数は変わらないか。
 所長 今年度は2人雇用している。3人雇用予定であったが応募がなかった。
 野村会員 歳出 9款5項 給食物資調達事業
 賄材料費に市の補助20円は計上されているのか。
 所長 市の補助20円と地産地消1円を計上している。
 野村会員 歳入 20款4項 給食費納付金
 給食費納付金が4億2,128万7,000円で賄材料費が4億1,780万5,000円で賄材料費の方が予算が少ないのではないか。
 所長 副食費納付金を除いた給食費納付金3億8,422万2,000円に対応するのが賄材料費である。
 会長 他になければ、給食センターの質疑及び意見は以上で終了する。

中央図書館

図書館長 中央図書館の予算を説明
 わたなべ会員 歳出 9款4項 講座等企画事業
 手話通訳は何人か。
 図書館長 令和2年度から始めるもので90分を1回、60分を1回という予算計上をしている。
 なかじま会員 図書購入に電子書籍の予定はあるか。
 主幹 電子書籍の予定はないが、令和元年11月に新しいシステムに更新し電子書籍を導入できる仕組みはある。

- なかじま会員 導入する判断はどこがするのか。
主幹 現在、調査研究しているところである。導入するタイミングはシステム更新を行う時が一つの目安と考えている。
- 図書館長 電子書籍については数が多くない。公共図書館として入れるべきタイミング等図書館として検討し必要に応じて予算化したいと考えている。
- なかじま会員 システムはいつ更新するのか。
主幹 令和6年度である。
- 大島会員 図書館のレファレンスの取り組みとして何か予算計上しているか。
図書館長 レファレンスとして予算には計上していない。日常業務の中で会計年度任用職員の研鑽を積み情報共有を行いレファレンスの制度を高めていくことは可能と考えている。
- 大島会員 レファレンスの取り組みを考えていかないか。
図書館長 図書館は情報センターとしての役割もあるため、利用者に対し有効な情報を答えられる体制は重要な機能であるとする。
- わたなべ会員 歳出 9款4項 中央図書館事業
図書館資料はどのように購入しているのか。
主幹 年間2,000万の予算で、多くは新刊を定期的に購入している。市民からの図書のリクエストも受けている。愛知県内の図書館と連携をとっているため出版の古い図書は取り寄せることもある。
- 大島会員 新聞は何年保管しているのか。
主幹 中日新聞は縮刷版を購入していて開館当初から保管している。それ以外の新聞は1年間保管している。
- 大島会員 依頼すれば閲覧やコピーができるか。
主幹 できる。
会長 他になければ、中央図書館の質疑及び意見は以上で終了する。
- 会長 会長報告の作成は会長と副会長への一任を確認。
閉会宣言

午前11時26分終了

以上、要点筆記は会議内容と相違ないので署名する。

令和2年2月28日

予算決算委員会

教育福祉分科会長

大島令子